

- P1 株主のみなさまへ
- P5 工事実績のご紹介
- P7 下半期トピックス
- P9 技術のご紹介
- P10 海外での事業展開
- P11 財務情報
- P13 株主様アンケート結果のご報告



株主のみなさまへ

トップメッセージ



代表取締役社長 今井雅則

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)のわが国経済は、復興需要を支えに企業収益や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、海外景気の下振れ懸念が残るなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

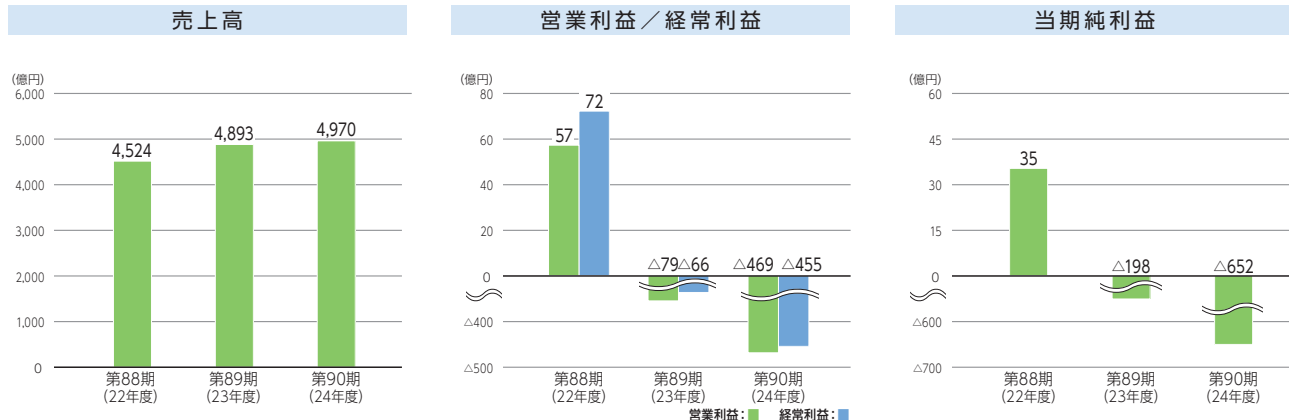
このような経営環境のもと、当期における当社グループの業績につきましては、連結売上高は4,970億円と、前期比1.6%の増加となりました。しかしながら、主要事業である建設事業において、労務の逼迫等によりコストを巡る環境が一層厳しさを増し、手持工事の採算が悪化したこと等により、469億円の営業損失となりました。また投資有価証券評価損等の特別損失の計上、繰延税金資産の全額を取崩したことによる税金費用の増加により、誠に遺憾ながら、652億円の当期純損失となりました。

こうした事態を開開するべく、昨年11月には中期経営計画の見直しを発表し、業績回復に向けた取り組みを推進してまいりました。特に建築受注高(個別)に関しましては適正規模化と選別受注を進めた結果、2,558億円と前期比22.3%の減少となりましたが、一方で手持工事の粗利益率が改善するなど、施策の効果が現れております。今期につきましても、引き続き、取り組みの手を緩めることなく、施策を展開してまいります。

また、今後の目指すべき方向性として、「価値ある戸田建設」という方針を打ち出しました。当社の持つ「価値」で、お客様に選んでいただけるようになることを目標に、グループを挙げてあるべき姿を追求してまいりたいと考えております。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

財務ハイライト(連結)



セグメントの概況

事業の種類別セグメントにおける業績は、以下のとおりとなっております。

■ 建築事業

売上高は3,989億円(前期比6.6%増)、セグメント損失(営業損失)は418億円(前期は35億円のセグメント利益)となりました。

当社個別の受注高につきましては、採算性重視の受注方針を採った影響から、民間工事(国内)、官公庁工事(国内)、海外全てにおいて減少し、全体では2,558億円と、前期比22.3%減となりました。

■ 土木事業

売上高は885億円(前期比15.4%減)、セグメント損失(営業損失)は9億円(前期は13億円のセグメント利益)と

なりました。

当社個別の受注高につきましては、官公庁工事(国内)が前期比27.3%増となりましたが、民間工事(国内)が前期比25.2%減となり、全体(海外含む)では831億円と、前期比12.7%増となりました。

■ 不動産事業

売上高は141億円(前期比2.9%減)、セグメント利益(営業利益)は14億円(前期は54億円のセグメント損失)となりました。

■ その他の事業

売上高は12億円(前期比5.8%減)、セグメント損失(営業損失)は36百万円(前期は99百万円のセグメント利益)となりました。

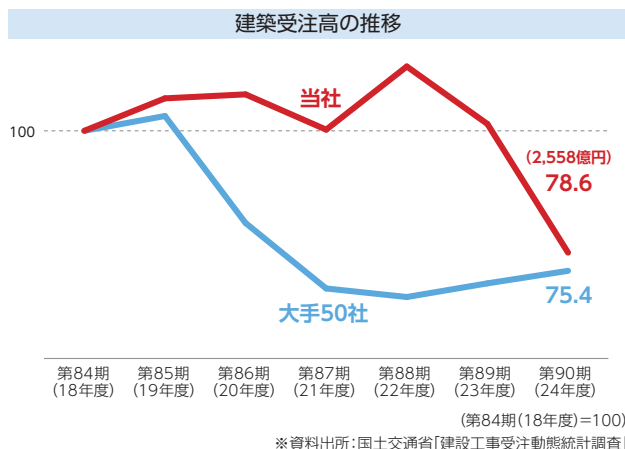
業績回復に向けた取組み

■ 適正規模化の推進

建築受注高(個別)は2,558億円と、世界金融危機前の第84期と比べ78.6%と、市場とほぼ同水準まで縮小させております。

今般の損失計上は、受注高確保と労務事情・調達状況等の変化が相俟って、適正な消化体制が崩れた結果であると認識しております。また、本来実行すべきコスト計画が未達成に終わったことも業績悪化の原因と考えられます。

こうした状況を受け、当面、建築事業の受注目標を2,500億円に据え置き、このことを通じて利益重視の方針を社内に定着させてまいります。また、これを機に、繁忙状態にある施工部門につきましても、適正な工事消化体制を再構築いたします。

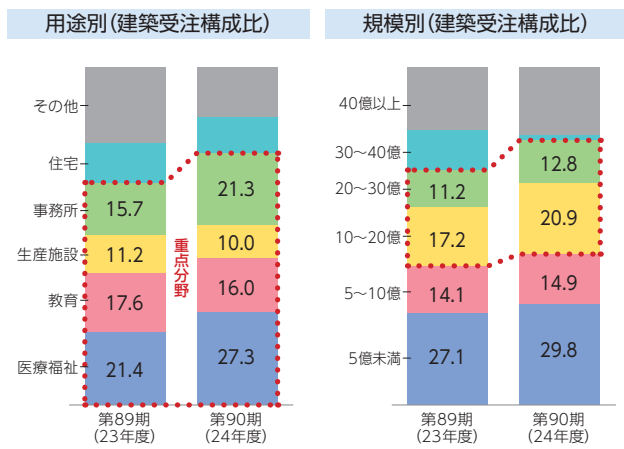


市場と合致した受注規模を確立

■ 選別受注の徹底

建築受注工事につきまして、当社の提案力を活かせる案件に絞って取り組んだ結果、重点分野の比率が74.6%となり、規模別(1件当たりの工事金額別)に見ても、10億、20億円台の中規模案件が増加いたしました。また、大規模物件につきましても、選別作業を重ね、案件を絞り込んだ上で、各部門との情報共有を図り、利益向上に向けた管理を徹底しております。

第91期につきましても、引き続き、競争激化、コスト上昇などの懸念が続くものと予想されます。このような選別受注の徹底に加え、特命設計施工の受注拡大、事業計画策定等より上流工程からのつくり込みを図ることで、利益を確保してまいります。



「重点分野 × 中規模物件」を受注

工事实績のご紹介

当期の完成・受注工事

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当期における主な完成・受注工事をご紹介します。

大手町一丁目第2地区第一種市街地再開発事業建設工事(B棟)



工事名称 大手町一丁目第2地区第一種市街地再開発事業建設工事(B棟)

工事場所 東京都

発注者 三菱地所(株) 他

竣工月 平成24年10月*

工事概要 S造 地上35階 地下4階 塔屋3階
床面積132,589.00m²

用途 事務所

※歩道工事他は平成25年11月竣工予定

JR神田万世橋ビル



工事名称 JR神田万世橋ビル

工事場所 東京都

発注者 東日本旅客鉄道(株)

竣工月 平成25年1月

工事概要 S造 地上20階 地下2階
床面積28,498.65m²

用途 事務所 保育施設

同志社大学今出川キャンパス等整備事業



- 工事名称 同志社大学今出川キャンパス等整備事業
今出川キャンパス埋蔵文化財発掘調査(後期)及び
新棟建設工事
- 工事場所 京都府
- 発注者 (学)同志社
- 竣工月 平成25年3月
- 工事概要 RC造 地上5階 地下2階
床面積40,446.05m²
- 用途 学校

北陸新幹線、高岡駒方高架橋



- 工事名称 北陸新幹線、高岡駒方高架橋
- 工事場所 富山県
- 発注者 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 竣工月 平成24年9月
- 工事概要 工事延長:1,434m
場所打ちRC杭:112本、回転鋼管杭:97本
RCラーメン高架橋:13連
除雪基地RCラーメン高架橋:2連
RC橋脚:28基、RCT桁:38連
PCT桁:9連(桁46本)、PC箱桁:1連
- 用途 鉄道

■ 当期における主な完成工事 (中間報告書掲載工事を除く)

- 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
東京都健康長寿医療センター新築工事
- 独立行政法人 都市再生機構東日本都市再生本部
武蔵浦和駅第1街区第一種市街地再開発事業
B1・B2・B3-2BL建設工事
- ヤマト運輸(株) (仮称)ヤマト厚木物流ターミナルプロジェクト工事
- 首都高速道路(株)
(改関負)溝田橋架替下部・石神井川付替(その4)工事
- 中日本高速道路(株)
首都圏中央連絡自動車道河原口高架橋(下部工)北工事
- 中国地方整備局 広島南道路観音東改良第8工事

■ 当期における主な受注工事 (中間報告書掲載工事を除く)

- 日本郵便(株) 大宮桜木町一丁目計画(仮称)新築工事
- 京成曳舟駅前東第三地区市街地再開発組合
第一種市街地再開発事業 施設建築物等建設工事
- (株)牧野フライス製作所 厚木第3工場新築工事
- 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院新築工事
- 長野県厚生農業協同組合連合会
篠ノ井総合病院新病院整備第1期工事(建築主体工事)
- 東日本高速道路(株)北海道支社
北海道横断自動車道 第二天神トンネル工事
- 環境省地球環境局
平成24年度浮体式洋上風力発電実証事業委託業務
- 東北地方整備局 仙台湾南部海岸中浜工区坂元地区北第2復旧工事

2012年

再生と復興を願う「エコプロダクツ東北2012」に出展

当社は、夢メッセみやぎ(宮城県仙台市)で開催された「エコプロダクツ東北2012」(10月19日(金)~21日(日))に、現在異業種連携で各種の実証試験に取り組んでいる㈱村田製作所と共同で出展しました。

両社が共同で実証試験に取り組んでいる3つのシステムの実物や模型を展示しました。

- ①エネルギーハーベスティングによる自己発電型無線照明スイッチ
- ②無線技術を活用したタスク&アンビエント照明システム
- ③CO₂センサーを活用した省エネ換気システム

また当社のスペースでは、洋上風力発電、BDFの製造過程、ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の模型や説明パネルを展示しました。



京橋トラストタワーの地上鉄骨建て方を開始

当社は、「京橋トラストタワー(東京都中央区)」の地上鉄骨建て方工事に着手しました。

この建物は、高い制振性能を有する装置を組み合わせたハイブリッド制振構造や高強度材料の採用などにより、1ランク上の耐震性能を確保しています。森トラストグループが運営する約90の施設と情報連携した「グリッド型BCP」に組み込まれ、震災発生時、適切な人的・物的支援や指揮系統を確保する防災拠点として、継続使用に耐える高い耐震性能を有しています。

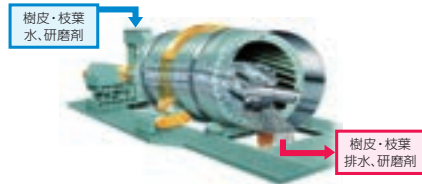


枝葉、樹皮に付着したセシウムを95%以上除去する洗浄技術を開発

当社は、会津土建㈱、シグマテック㈱と共同で、枝・葉や樹皮に付着したセシウムを95%以上除去する洗浄技術を開発し、平成24年度(平成23年度繰分)環境省除染技術実証事業で洗浄効果を実証しました。

洗浄部が互いに逆方向に回転する外殻と内軸で構成された特殊洗浄機を用い、木質系廃棄物が外殻と内軸の間で圧縮・摩擦され、放射性物質が効果的に洗浄・除去されます。

現在課題となっている、除染工事で発生する枝・葉や製材で発生する樹皮の対策に利用可能な技術として、実用化への検討を進めていきます。



明治大学農学部黒川農場の自然生態園における植生管理団体に当社が決定

2012年6月に開場した明治大学農学部黒川農場(神奈川県川崎市)内の自然生態園における植生管理団体として、当社が認定され植生管理活動*を開始しました。

当社施工の全12.8ヘクタールの新農場をフィールドにしたもので、自然生態園はそのうち約4分の1程度を占める里山です。雑木林、草地、小川、ビオトープなどがあります。ここでの植生管理活動は、明治大学農学部倉本教授の指導のもと、在来植生の維持・育成、外来植物の排除といった活動を行い、里山保全に必要な生物多様性のあり方を見出すことを目的としています。



用語

植生管理活動
植生(植物の広がり)を維持する活動のこと。在来植生の維持・育成、外来植物の抑制などがある。

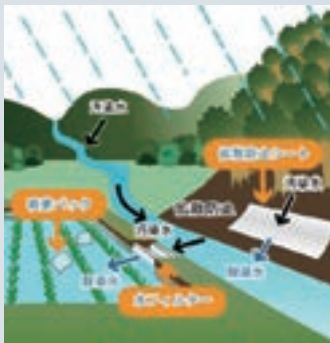
1月

2013年

放射性物質の拡散防止技術の効果を実証

当社は、放射性物質の拡散防止を図ることを目的として特種東海製紙(株)が開発した「TT-除染シートSC」(拡散防止シート)を使用して福島県内で共同実証試験を行い、除染した場所において、風雨などで拡散した放射性物質による汚染を防ぐ効果を確認しました。

また、特種東海製紙(株)が開発中の「水フィルター」についても福島県内の河川に設置し、水質内にある放射性セシウムの捕集効果について共同実証試験も行っています。今後、これらの製品を活用して、当社が開発してきた除染工法とセットにして除染および除染後の放射性物質拡散防止対策として自治体を中心に提案していく予定です。



2月

3月

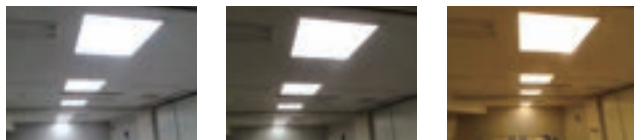
サーカディアンリズムと無線通信技術を融合した「スマートホスピタルライティングシステム」を共同開発、実証実験を開始

当社、(株)村田製作所、ウシオライティング(株)の3社は、次世代病院向けの照明システム「スマートホスピタルライティングシステム」を共同開発し実証実験を開始しました。

このシステムは、(株)村田製作所が持つ無線通信技術とウシオライティングの色温度にフォーカスした光色制御などを導入した新しい照明システムで、戸田建設本社ビルや小松村田製作所での実証試験を経て、埼玉県、千葉県内の病院に今夏以降に導入することが決まっています。

この「スマートホスピタルライティングシステム」の使用により、LED光による昼夜変化を体感し単調な入院生活で弱りがちな生体リズム(サーカディアンリズム*)の維持を図り、生活サイクルの安定化を図ることができるものと期待しています。

また光環境の検証については、千葉工業大学工学部建築都市環境学科の望月悦子准教授にアドバイザーとして関わっていただき、最適リズムの検証を行っていく予定です。



用語▶ サーカディアンリズム
生物に備わっている約24時間を周期とする内因性のリズム。



「戸田建設 生物多様性評価システムWeb版」を開発

当社は、建設工事における緑化計画が敷地内や周辺の生物に与える影響を独自の方法で評価を行う「戸田建設 生物多様性評価システムWeb版」を開発しました。

エコロジカルネットワーク形成に必要な周辺の環境・生息する生物がわかり、評価時に使用する評価種となる生物を簡単に選定することができます。また、計画した緑地が生物多様性にとってどの程度よい緑地であるのかを定量的に評価することが可能になります。

植物や生物のデータがシステム内にデータベースとして入っており、生物についての知識の少ない人でも、設計した内容の点数が簡単に得られるようになっています。

種別	種数	最大種数	実数
樹木の種数	370	105	90
地の種数	3	5	5
鳥の種数	3	5	3
昆虫の種数	73	5	2
種数	73	128	98
種多様性評価	58	100	78

医療福祉施設をトータルサポートする戸田建設の技術

当社は医療福祉施設のトップゼネコンとして、様々な技術開発を行っています。
当社が提供する医療福祉施設関連技術の一部をご紹介します。



バーチャルリアリティ (VR) を利用した『病院VRシステム』を開発

手術室・病室の室内レイアウトを3Dで見ながら即時に検討

当社は、手術室・病室のレイアウトを3Dのバーチャルリアリティ (以下VR) で表示することができる『病院VRシステム』を開発しました。

従来は図面での打ち合わせが中心で、建築に詳しくない病院スタッフの方々にとっては内容を理解することは難しい面がありました。そこで、関係者全員がしっかりイメージできて、納得度の高い手術室・病室を早期に作り上げるための支援ツールとして、このシステムを開発しました。2次元図面では分かりにくかった手術室や病室のレイアウトを3Dに置き換えて、モバイルPCやタブレット端末の画面に手術室や病室のレイアウトを3Dのバーチャル画像で表示することで、関係者とのイメージ共有を容易にしています。

このシステムの特長として

- ①手術室・病室の形状・色調や医療機器の位置・数量などの検討を、スピーディかつ具体的にを行うことが可能。
- ②ウォークスルー表示が可能で、病院スタッフの目線で機器類の配置や導線を確認することが可能。
- ③モックアップ(実物大模型)の代わりに利用することも可能。
- ④病室の窓からの簡易景観シミュレーションが可能。

等があげられます。

当社はこの病院VRシステムを活用し、「デザイン性」と「運用効率」の両方から最適なレイアウトを提案していきます。



病院VRシステム画像(手術室)



病院VRシステム画像(病室)



簡易景観シミュレーション



タブレット端末利用状況

海外での事業展開

世界に広がるネットワーク

当社の海外事業は、ブラジル・タイ・ベトナム・フィリピン・中国に拠点を置く連結子会社5社での民間建築工事、主にアフリカ諸国を中心とした日本政府無償援助工事、アメリカでの不動産事業の3つの事業で展開しています。

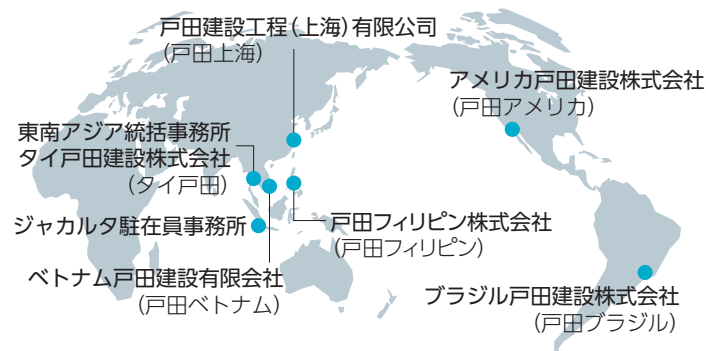
中期的施策として平成27年度の海外売上高目標を「300億円程度」と掲げており、その中心となるのが、当社海外事業売上高のおよそ4割を占め基幹市場となっている「ブラジル」と、経済成長を背景とした建設需要の拡大が見込める「東南アジア」です。

ブラジル戸田建設は1972年に設立し昨年設立40周年を迎えました。世界的な知名度を誇る企業の工場や事務所、ブラジルの発展に欠かせない教育施設や医療施設等その実績は実に1,000件以上にも及びます。成長著しい同国における数少ない日系ゼネコンとして今後も更なる現地へ

の浸透を心掛け業容の拡大を図ってまいります。

東南アジアは今後も引き続き経済成長が見込まれ、同地区に展開する連結子会社を支援する組織として昨年7月「バンコク地域統括事務所」を「東南アジア統括事務所」に格上げして駐在員を増員し、組織力の強化を行いました。

本年4月にはインドネシアにジャカルタ駐在員事務所を開設、海外事業の更なる市場開拓、収益基盤の拡充を図ってまいります。



海外年表

1910年	日英博覧会 出品陳列館建設
1914年	パナマ運河開通記念 パナマ太平洋万国博覧会 日本出品陳列館建設
1972年	戸田ブラジル設立 戸田アメリカ設立
1987年	上海市で日系建設企業初の中国との合併建設企業 上海住益戸田建設有限公司設立(現在の戸田上海)
1988年	タイ戸田設立
2009年	海外事業部から国際支店に組織の拡充 戸田ベトナム設立
2010年	海外進出100周年
2011年	戸田フィリピン設立
2012年	戸田ブラジル及び戸田アメリカ設立40周年 東南アジア統括事務所設立
2013年	ジャカルタ駐在員事務所設立

(施工実績 38カ国)



デンソー・ド・ブラジル・リミターダ
南米テクニカルセンター
(2012年竣工:ブラジル)

AGCマイクロガラス・タイラード
ランプーン工場
(2012年竣工:タイ)



連結損益計算書のポイント

(単位: 億円)

実績	第89期 (23年度)	第90期 (24年度)
売上高	4,893	4,970
売上総利益(△損失)	151	△ 246
販売費及び一般管理費	231	223
営業利益(△損失)	△ 79	△ 469
営業外収支	13	14
経常利益(△損失)	△ 66	△ 455
特別損益	△ 63	△ 22
税金等調整前当期純利益(△損失)	△ 130	△ 478
法人税等	67	171
少数株主利益	1	2
当期純利益(△損失)	△ 198	△ 652

Point 1 建設事業損失の発生

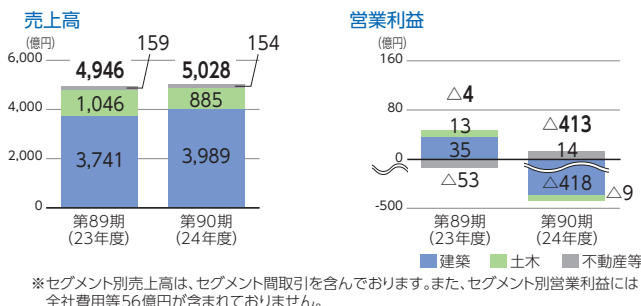
建設事業において受注時採算の悪化と労務の逼迫等によりコストを巡る環境が一層厳しさを増し手持工事の採算回復が進まなかったこと、及び建築工事における採算性について見直し工事損失引当金を91億円積み増した結果、完成工事総利益は前期比で467億円減少し271億円の損失となりました。

この影響により、売上総利益は前期比397億円減少し246億円の損失となりました。

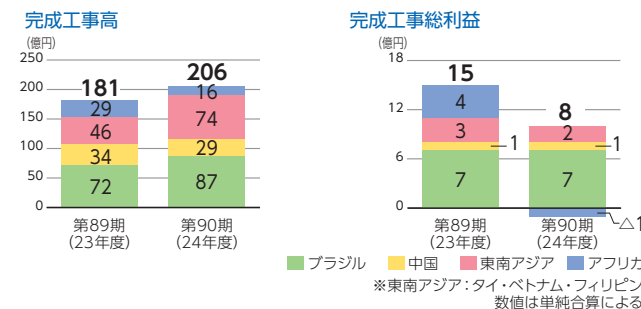
Point 2 特別損益と税金費用

資産の流動化を図るため投資有価証券を売却したことにより売却益が発生しましたが、投資有価証券評価損及び有形固定資産の減損処理等により、特別損益は22億円の損失となりました。また、当期及び今後の業績動向を勘案し、当社の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の全額を取崩したことにより法人税等の費用が前期比103億円増加しました。

セグメント別 売上高等



建設セグメント海外地域別 完成工事高等

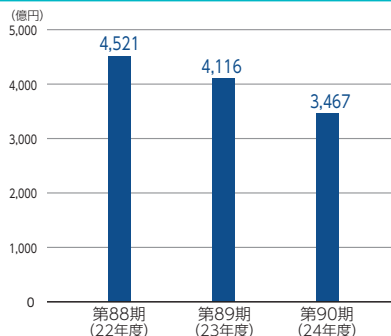


Point 3 海外事業の状況

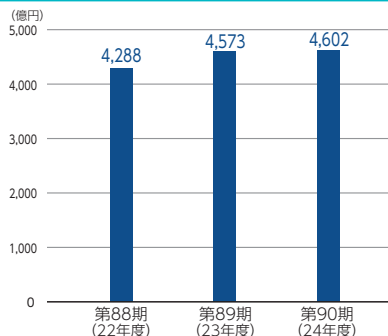
成長戦略の一環として海外事業に注力した結果、完成工事高は前期比13.4%増加の206億円となりましたが、完成工事総利益は、一部の不採算工事の影響をうけ前期比45.2%減少の8億円となりました。

なお、当期における海外建設受注高は233億円となりました。

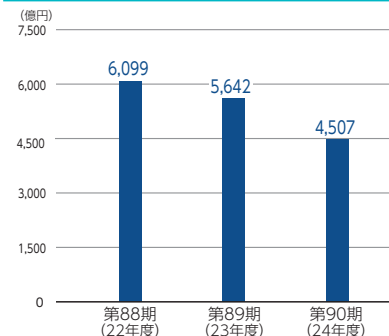
受注高(個別)



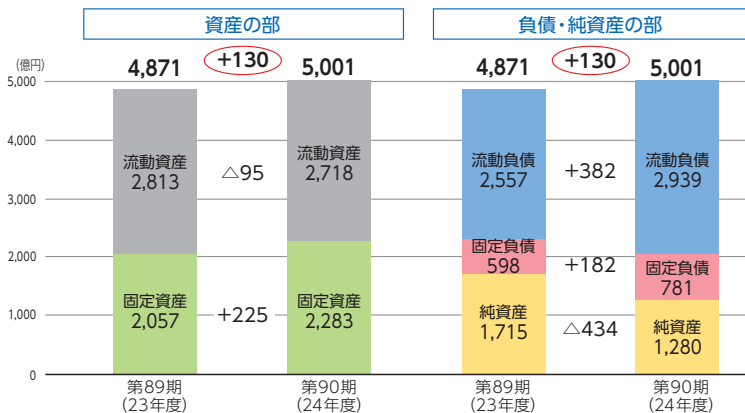
売上高(個別)



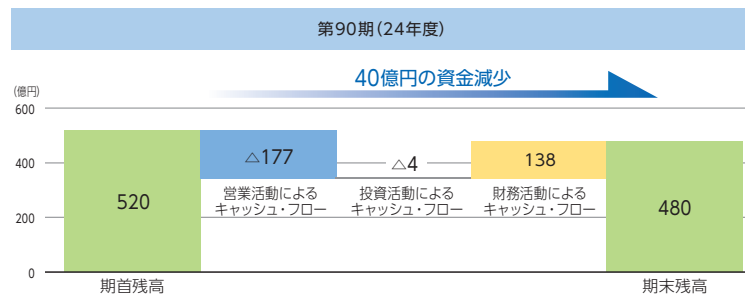
繰越高(個別)



連結貸借対照表のポイント



連結キャッシュ・フローのポイント



Point 4 資産の部

未成工事支出金の減少107億円、繰延税金資産の取崩しにより101億円減少しましたが、保有株式の時価上昇に伴う投資有価証券の増加325億円などにより、資産合計は、前期末と比較して130億円増加し5,001億円となりました。

Point 5 負債の部

未成工事受入金が69億円減少しましたが、有利子負債の増加159億円、支払手形・工事未払金等の増加223億円、工事損失引当金の積み増し91億円などにより、負債合計は、前期末と比較して564億円増加し3,721億円となりました。

Point 6 純資産の部

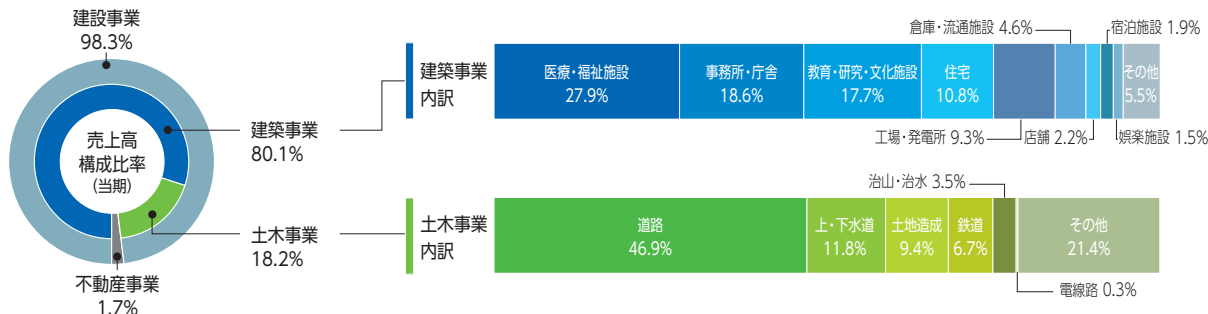
保有株式の時価上昇に伴い、その他有価証券評価差額金が230億円増加しましたが、当期純損失の計上652億円及び配当金の支払いなどにより、純資産合計は、前期末と比較して434億円減少し1,280億円となりました。

	第89期	第90期
1株当たり純資産額	537円53銭	397円18銭

Point 7 連結キャッシュ・フローの状況

税金等調整前当期純損失が478億円となり、営業活動としては177億円の資金減少となりました。また、投資活動としては、有形固定資産や投資有価証券の売却及び償還により増加しましたが、有形固定資産や投資有価証券の取得により資金が減少したため4億円の資金減少となり、財務活動としては、配当金の支払等により資金が減少しましたが、借入金及びコマース・ペーパーの増加により資金が増加したため、138億円の資金増加となりました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて40億円減少して480億円となりました。

事業種別別 売上高構成比率(個別)





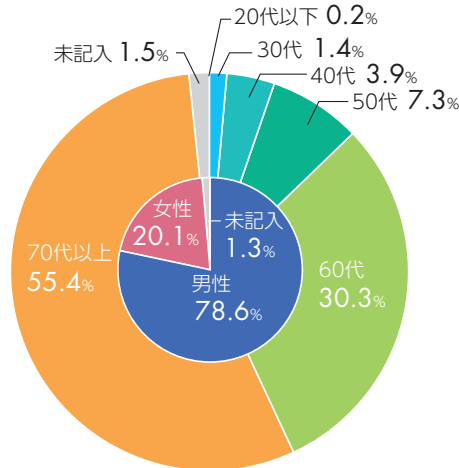
株主様アンケート結果のご報告

中間報告書と同封いたしました株主様アンケートにつきまして、983名の株主様よりご回答がありました。

ご協力を賜り、まことにありがとうございました。

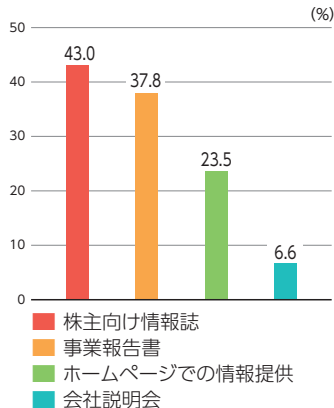
アンケート結果の一部をご紹介します。また、いただきましたご意見につきましては、今後の経営やIR活動に活かしてまいります。

調査期間	2012年12月7日～2013年1月31日
調査対象	単元以上株主様 8,613名
回答者数	983名
回答率	11.41%



アンケート結果(一部)

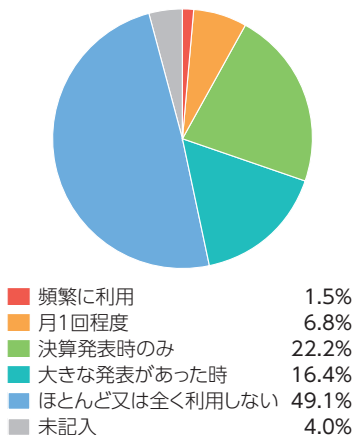
IR活動への要望(複数回答)



IR活動として「株主向け情報誌」の充実を求める声を多くいただきました。

引き続き読みやすくわかりやすい情報誌の作成に努めてまいります。

IRサイト活用状況



調査結果を受け、当社ではホームページの充実を図るとともに書面による情報提供にも引き続き注力してまいります。

報告書に対するご意見(一部)

- 来期の見通しや方針をもっと掲載して欲しい。
- 財務情報の説明が簡潔で分かりやすい。
- 他社に先駆け品質管理に取り組んでいる姿勢を知りたい。
- 各地方の工事等も掲載して欲しい。
- 文字を大きくして欲しい。
- 写真を使い読みやすい内容であった。
- アンケートを今後も続けて欲しい。

貴重なご意見を数多く頂戴し、感謝申し上げます。当社では皆様からのご意見を活かし、これからも充実した報告書の作成に取り組んでまいります。

報告書に対するご意見

■ 経営についての要望

アンケートでは業績悪化や赤字についての説明など、当社の経営に対するご要望を数多くいただきました。

新しい社長のもとで、当社が業績回復に向けてどのような経営方針で取り組むか、その一端をこの報告書でご

紹介しておりますのでご覧ください。

これからも、株主の皆様に関心を持っていただけるよう報告書の内容を充実させてまいります。



P 1～4をご参照

IRサイトの活用状況

■ 技術・IRの最新情報を掲載

本年4月8日に公式ホームページをリニューアルしました。使いやすさの向上を図るほか、内容の拡充にも努めております。株主の皆様には有用な新しいコンテンツも掲載しておりますので是非ご利用ください。

今後も積極的な情報発信に努めてまいります。



株主様からのご意見(一部)

「優待券が利用できません。他のものになりませんか？」

当社では原則として、配当金による利益還元がすべての株主様に対して平等な利益還元の方法と考えております。

一方で日頃の感謝の気持ちを込めて当社のサービスをご提供したいとの考えから、グループ保有のホテル割引券を株主優待といたしました。優待に対する考え方は色々ございますが、ご理解いただきたく存じます。

「早期の業績回復を! 応援します。」

株主の皆様にはご心配をおかけしまして、大変申し訳なく存じます。この度は多くの株主様からこのようなご声援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループでは、グループの総力をあげて業績回復に努めてまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援のほどよろしく願いいたします。

■ 会社概要

(平成25年3月31日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

支店

- ・東京支店(東京都中央区)・千葉支店(千葉市)・関東支店(さいたま市)
- ・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)・名古屋支店(名古屋)
- ・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)・広島支店(広島市)
- ・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)・国際支店(東京都中央区)

技術研究所(つくば市)

子会社

- ・戸田リフォーム(東京)
- ・シブコー工業(東京)
- ・アベックエンジニアリング(埼玉)
- ・千代田建工(東京)
- ・戸田道路(東京)
- ・千代田土地建物(東京)
- ・戸田ファイナンス(東京)
- ・東和観光開発(広島)
- ・千代田スタッフサービス(東京)
- ・戸田アメリカ
- ・戸田ブラジル
- ・戸田上海
- ・タイ戸田
- ・戸田ベトナム
- ・戸田フィリピン
- ・ABTD(フィリピン)

● 従業員の状況

従業員数 5,091名(連結) 4,028名(個別)

● 取締役および監査役(平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	今井雅則	常勤監査役	戸田守道
代表取締役	野村昇	常勤監査役	野々口悦生
代表取締役	鞠谷祐士	監査役	鍛冶良明
代表取締役	宮崎泰	監査役	鈴木勝利
取締役	戸田秀茂	監査役	秋草史幸
取締役	早川誠		
取締役	山木昇		
取締役	西澤豊		

- (注) 1: 監査役鍛冶良明氏、鈴木勝利氏および秋草史幸氏は、社外監査役であります。
2: 監査役鍛冶良明氏は東京証券取引所および大阪証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

■ 株主優待のご案内

毎年9月末時点の当社株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様を対象に、当社グループが保有・運営する「ホテル&リゾート サンシャイン サザンセット(山口県)」の宿泊割引利用券を贈呈いたします。

戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号
TEL.(03) 3535-1357
<http://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索

■ 株式の状況

(平成25年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 13,596名
- 大株主

株主名	持株数(千株)
大一産殖株式会社	36,400
戸田順之助	31,022
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	23,984
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,496
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リューエス タックス エグゼンプテッド ベンション ファンス	9,723
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,617
戸田守二	9,607
ビービーエイチ493025ブラックロック グローバルアロケーションファンドインク	7,525
株式会社みずほ銀行	7,107
三宅良彦	7,087

(注) 上記のほか当社所有の自己株式11,418千株があります。

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.toda.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。